

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもデイサービス ドリームノア萩原		令和 7年 3月 10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・段差が出ないよう配慮している。 ・物でスペースがなくなるようにしている。	・必要に応じて特性に合わせた構造を考えていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎朝点検と清掃を行い清潔な環境が維持できるように努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・カームダウンができる個室を設置し、着替えや個別での話ができる場の確保が出来ている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・全職員が出勤している日時に会議を行うようにしています。参加できない場合には書面にて意見や周知をするようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・職員で保護者様からの評価表を元に話し合いを行い、業務改善へと繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・朝と夕にミーティングを行い職員の意見を把握する機会を設け、業務改善へと繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・現在第三者による外部評価は行っていません。	・必要な時には第三者により外部評価を行い、評価結果を業務改善へと繋げていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・オンライン研修や外部講習を受講し、職員のスキルアップを図っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・支援プログラムは令和6年10月の作成し、HPにて同月に公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・定期的にあセスメントを行いながら、日々の観察もアセスメントしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・全職員が参加できる時間帯で共有する場を設けています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・個別支援会議にて職員間で共有できています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・定期的にあセスメントを行いながら、日々の観察もアセスメントしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・活動内容はチームで考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・固定化しないように振り返り等も行っています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・個別の活動と集団活動を組み合わせ支援を行うようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・朝のミーティングで打ち合わせを行っています。集団活動においての支援内容や、気を付ける点なども含めて確認を行い支援を行うようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・夕方のミーティングで支援の振り返りを行うようにしています。参加出来ない職員には次の日の朝に再度全員で周知できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・毎日の支援内容は記録を当日のうちに残すようにしています。職員間でのモニタリング会議等で支援の記録を元に検証・改善に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・最低でも半年に1度はモニタリング会議を行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		・4つの基本活動を元に活動計画を立てています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・活動に参加できない場合でも自己選択ができるような声かけ等を取り入れるよう心がけています。自己選択し、達成までを感じられるようにと考えています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・こどもの状況を理解した者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・必要な場合は関係機関と連携して支援を行っていきたくと考えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校と直接は情報共有はしていません。保護者を通じて学校と調整等を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		・必要な場合は情報共有も検討しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・まだドリームノア秋原からの障がい福祉サービス事業所等へ移行された方がいません。	・必要に応じて支援内容の情報の提供を保護者の方に確認を得て行っていきたくと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		・今後検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	・感染症対策としてまだ実現ができていません。	・子どもたちの体調を第一に考え、感染症などの心配のない時期で検討し、交流の機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・協議会等への参加はできていません。	・検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎時にこどもの状況をお話をしたり、必要であれば夕方に電話にてお伝えするようにしています。共通理解をもてるようお話をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・研修の機会は設けていません。相談を受けアドバイス等は行っていきました。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時には説明を行うようにしています。支援プログラム等は保護者との連絡帳でお伝えはしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・保護者やこどもの意志の尊重は第一に考えています。こどもや家族の意向を確認する為、保護者の方へは時間を調整して頂き、話を聞く機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・保護者へ放課後等デイサービス計画を説明を行い同意を得て支援を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・子育て等に対する悩みや相談へは連絡帳や電話、対面にて助言や支援をおこなうようにしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	・保護者会等の開催ができていませんでした。	・第1回の保護者交流会の後は、また感染症拡大が起こってしまい、開催されていませんでした。平日は難しいのですが学校長期休みにはまた開催しようと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・保護者様からの苦情に対して迅速に対応できるよう整備を整えています。苦情に対して記録を残し、今後の適切な行動や対応へと繋げるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・月に1度HPにて活動内容や必要な情報を掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報の取り扱いには十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・保護者の方へは連絡帳にて意見交換のできるようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	・計画はしていたが、実行までに至らなかった。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・訓練などはHPにてお知らせをしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・業務継続計画を策定し、研修訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・こどもの状況の確認を行っています。変化なども考え定期的に服薬状況などの確認も行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・入社したばかりで分からない	・今後HPへ掲載をし、周知して頂けるようにします。 ・入社したばかりの職員へ1月時点では保護者への周知の方法などと説明できていませんでした。 1月末にはその研修なども行いたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハット発生時にはすぐに職員間で共有しています。ミーティングの時には職員間で再度周知し、原因追及や今後の課題等を話し合いを行い書類にして残して再発防止へと心がけています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止委員会を設置し、職員の研修の機会を設けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			